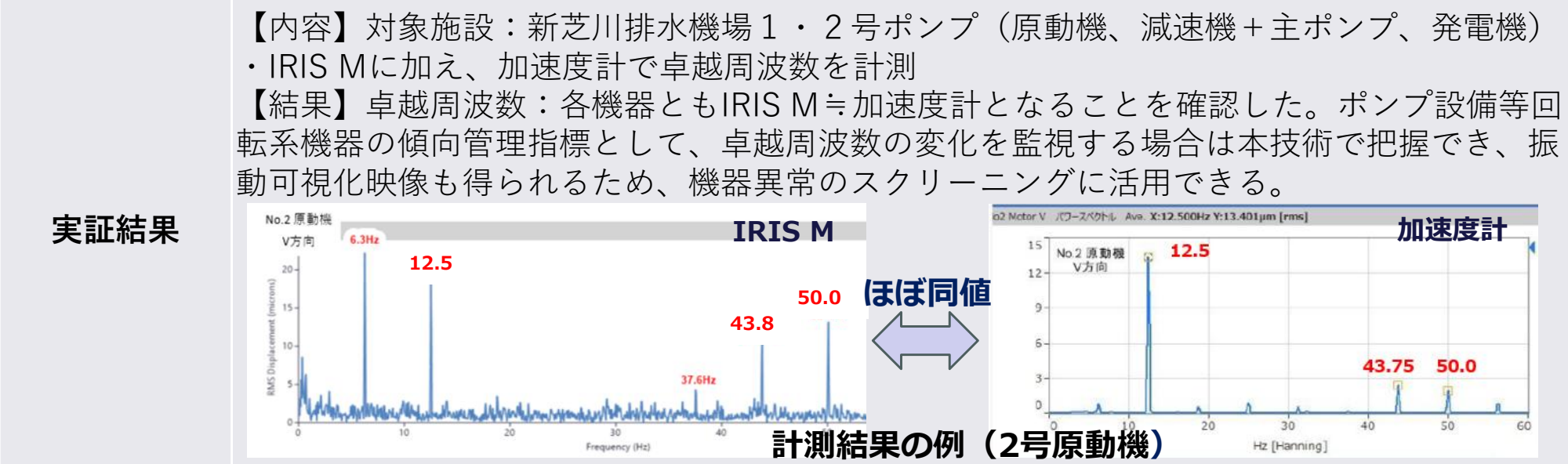


現場実証概要(令和6年現場実証結果)

技術名 IRIS Mを用いた排水機況におけるポンプ設備等の傾向観察

技術概要

排水機場は主ポンプ、ディーゼル機関、減速機等の機器と多数の部品で構成されており、部品が1つでも故障すると排水機能を発揮できない。このため、年点検・月点検が実施され、その際、計測機器を用いた傾向管理（振動量、温度・圧力測定等）が行われている。一方、測定項目が多く計測手間がかかること、計測値の判断には専門知識が必要となること等が課題であった。本技術は1度の撮影（20秒程度）で画像内の任意の着目点について卓越周波数を計測でき、振動可視化映像が得られる。また、簡素な計測機器：カメラ、計測用PC、ライト、作業員：2名で傾向管理に必要な情報を効率良く収集可能である。



問合せ先	開発団体名	パシフィックコンサルタンツ株式会社	担当者	・国土基盤事業本部／渡邊武志 takeshi.watanabeアットマーク os.pacific.co.jp ・計測部／小田隼人 h-odaアットマークkeisokukensa.co.jp	TEL	03-6777-1506
		計測検査株式会社				093-642-8231